

デ準第 220008 号
2023 年 1 月 11 日

公益財団法人日本レスリング協会
加盟団体 各位

一般財団法人全日本ろうあ連盟
デフリンピック準備室 室長 久松三二
(公印省略)

レスリング競技におけるきこえない・きこえにくい選手の実態調査について（依頼）

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

この度、当連盟では、きこえない・きこえにくいアスリートのオリンピックといわれる“デフリンピック”を 2025 年に日本で初めて開催するにあたり、JOC や JPC や NF の皆様、東京都等、多方面からの支援をいただきながら準備を進めているところでございます。

デフリンピックは、1924 年から 100 年近くの歴史を持ち、オリンピックと同じく 4 年に 1 回、夏季大会と冬季大会が開かれています。出場資格は、補聴器または人工内耳を外した状態で、よりきこえる方の耳の平均聴力が 55 デシベル以上の聴力損失があり、記録や順位など出場条件を満たした選手です。

また、当連盟では 1965 年から夏季・冬季デフリンピックに日本選手団を派遣しており、2022 年 5 月にブラジルで開催された第 24 回夏季デフリンピック大会では、選手・スタッフを含めた総勢 149 名の日本選手団を派遣し、メダル獲得数は過去最高の 30 個（金 12、銀 8、銅 10）となりました。

しかし、レスリング競技については、我が国にデフ競技団体がいないため、レスリング日本代表選手を派遣したことがありません。また、国内でもどのくらいきこえない、きこえにくい選手がいるのか等、状況が把握できておらず、選手発掘や育成がなかなか進まない状況です。2025 東京デフリンピックのレガシーの一つとして、我が国におけるデフスポーツの振興と普及を掲げており、レスリング競技におきましても今後、デフアスリートの発掘や養成、そして、ゆくゆくは 2025 デフリンピックへの選手派遣につなげたいと考えております。

つきましては、「レスリング競技におけるきこえない・きこえにくい選手の実態調査」を行いたく、貴会におかれましては、ご多忙の折大変恐縮ですが、趣旨をご理解いただき、調査へのご協力をお願い申し上げます。

別紙の「調査書」にご記入の上、2022 年 3 月 31 日（金）までにメール添付もしくは Google フォームにてご返信をお願いいたします。

なお、ご回答いただきました情報は取扱いに十分に注意いたします。

〈ご参考〉

●デフリンピック紹介パンフレット

<https://www.jfd.or.jp/sc/deaflympics>

【問い合わせ先】一般財団法人 全日本ろうあ連盟デフリンピック準備室（倉野、栗野）
〒162-0801 東京都新宿区山吹町 130 SK ビル 8F

電話：03-3268-8847 E-mail：dp2025@jfd.or.jp

以上

一般財団法人全日本ろうあ連盟 デフリンピック準備室 行

【〆切： 2023年3月31日（金）】

【Google フォーム】 <https://forms.gle/M6gw1PodbMwleLzr5>

【E-MAIL】 dp2025@jfd.or.jp

レスリング競技におけるきこえない・きこえにくい選手の実態調査票

所属団体または学校名：

監督名（フリガナ）：

住 所：

電 話：

F A X：

メール：

きこえない・きこえにくい 選手	いる ・ いない
--------------------	----------

※以下はきこえない・きこえにくい選手がいる場合のみお書きください。

人 数	男子 人、女子 人
年 齢	
その他情報があれば (卒業生など)	

※下記、個別で紹介したい選手がいればご記入ください。デフリンピックでは男子競技のみで、女子競技はありません。

(本人及び親権者の同意を取ったうえでお願いいたします。)

・選手名（フリガナ）	
・年齢・障害等級	
・コミュニケーション手段	
・競技歴・大会成績	
・種目	男子グレコローマン(kg)、男子フリースタイル(kg)
・備考欄	

※なお、ご回答いただきました情報は取扱いに十分に注意いたします。